

「2027年国際園芸博覧会 アクセシビリティ推進支援業務委託」の
プロポーザルに係る提案書評価基準

表1の評価項目及び配点ウェイトのもと、評価を行います。

各評価項目の評価の着目点は表2のとおりとします。

表1 基本的事項

評価項目 (配点)	評価の着目点		配点	評価	評価点
業務実施体制 (40点)	管理技術者	過去の同種又は類似の業務の実績の内容	20		
	担当技術者	過去の同種又は類似の業務の実績の内容	20		
提案内容 (140点)	(1) アクセシビリティの推進 ガイドラインやアクセシビリティ実装計画に基づき、関係部署との調整や進捗管理を効果的に行い、具体的な改善と実装を確実に進められる提案がされているか。		30		
	(2) アクセシビリティ推進意見交換会（仮称）の運営支援 意見交換会において、論点整理・資料作成・運営準備が適切に行われ、円滑な意見交換会の運営ができるような提案がされているか。		10		
	(3) ICT技術を活用したアプリの導入 会場の特性や当事者のニーズを踏まえ、機能要件・貼付場所・情報内容・運用体制を適切に設計し、円滑な導入が図られるような提案がされているか。		20		
	(4) アクセシビリティのスタッフ研修に関する支援 スタッフが必要な理解と対応力を得られるよう、内容設計・講師連携・実施準備が、円滑に図られるような提案となっているか。		20		
	(5) 各種マップ・事前学習ツールの作成 利用者の特性に配慮した内容を反映し、分かりやすく実用性の高いマップや事前学習ツール等を作成するための提案がされているか。		20		
	(6) カームダウン・クールダウン/センサリースペースの整備について 当事者の意見を踏まえ、空間設計・配置・運用方法について、安全で利用しやすい環境を実現するための提案がされているか。		20		
	(7) 評価・とりまとめ（最終報告書の作成） 会期中のデータを適切に収集・分析し、成果と課題をわかりやすく整理した報告書を作成するための提案がされているか。		20		
ヒアリング (40点)	理解力や専門技術力があるか		20		
	取り組み意欲が感じられるか		20		
業務遂行能力 (10点)	事業経費の積算は妥当で、費用対効果の高いものとなっているか		10		
ワーク・ライフ・バランスに関する取組等	次世代育成支援対策推進法に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算）		1		
	女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく一般事業主行動計画の策定（従業員101人未満の場合のみ加算）		1		

(7点)	次世代育成支援対策推進法に基づく認定（くるみんマーク）の取得、又は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律に基づく認定（えるぼしマーク）の取得	1		
	青少年の雇用の促進等に関する法律に基づくユースエール認定の取得	1		
	障害者雇用促進法に基づく法定雇用率 2.5%を達成している（従業員 40 人以上）、又は障害者を 1 人以上雇用している（従業員 40 人未満）	1		
	健康経営銘柄、健康経営優良法人（大規模法人・中小規模法人）の取得	1		
	国又は地方自治体が行うスタートアップ企業支援策の対象事業者の活用（共同企業体の構成員、下請・再委託事業者など）	1		
評価点の合計 (237 点)				

評価方法

- (1) 業務実施体制は、A、C、Eの3段階評価を行う。
- (2) 提案内容、ヒアリング及び業務遂行能力は、A、B、C、D、Eの5段階評価を行う。
- (3) 提案内容の評価点については、次のように配点を行う。

ア 業務実施体制

配点 20 点：A=20 点、C=12 点、E=4 点

イ 提案内容

配点 30 点：A=30 点、B=24 点、C=18 点、D=12 点、E=6 点

配点 20 点：A=20 点、B=16 点、C=12 点、D=8 点、E=4 点

配点 10 点：A=10 点、B=8 点、C=6 点、D=4 点、E=2 点

ウ ヒアリング

配点 20 点：A=20 点、B=16 点、C=12 点、D=8 点、E=4 点

エ 業務遂行能力

配点 10 点：A=10 点、B=8 点、C=6 点、D=4 点、E=2 点

オ ワーク・ライフ・バランスに関する取組等

各項目を1つ満たすごとに1点を加算する。

- (4) 提案内容及びヒアリングの評価項目において、E評価のあるものは原則として選定しない。
- (5) 評価点について最上位の者が2者以上同点となった場合には、評価委員会にて採択を行い、最上位を決定する。
- (6) 業務実施体制及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、1者ごとに事務局が評価を行い、評価委員会で承認を行う。
- (7) 提案内容及びヒアリングは、1者ごとに各評価委員が評価を行う。
- (8) 業務実施体制、提案内容、ヒアリング、業務遂行能力及びワーク・ライフ・バランスに関する取組等の評価点の合計を評価委員全員分集計し、その合計点を当該提案者の評価結果とする。
- (9) 評価点は、評価委員1名につき満点で237点とし、評価委員全員の合計で1,185pp点(237点×5人)満点とする。
- (10) 共同企業体を組成する場合、業務実績は、1者以上の構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (11) 共同企業体を組成する場合、ワーク・ライフ・バランスに関する取組等は、代表者たる構成員が条件に当てはまることで、該当していることとする。
- (12) 評価委員が欠席した際には、その委員の評価点は無効とし、委員会に出席した委員のみで評価を行う。
- (13) ヒアリングを実施しなかった場合には、ヒアリングに関する評価はC(12点×2=24点)とする。

表2 評価の視点

評価項目	評価の着目点		評価				
			A	B	C	D	E
業務実施体制	管理技術者	過去の同種または類似業務の実績の内容	過去5年間に、大規模イベント・大規模施設における、アクセシビリティに関する実績が2件以上ある		過去5年間に、大規模イベント・大規模施設における、アクセシビリティに関する実績が1件以上ある		過去5年間に、大規模イベント・大規模施設における、アクセシビリティに関する実績がない
	担当技術者	過去の同種または類似業務の実績の内容	過去5年間に、大規模イベント・大規模施設における、アクセシビリティに関する実績が2件以上ある		過去5年間に、大規模イベント・大規模施設における、アクセシビリティに関する実績が1件以上ある		過去5年間に、大規模イベント・大規模施設における、アクセシビリティに関する実績がない
提案内容	(1) アクセシビリティの推進 ガイドラインやアクセシビリティ実装計画に基づき、関係部署との調整や進捗管理を効果的に行い、具体的な改善と実装を確実に進められる提案がされているか。		十分に理解した具体的で実現性が高く、かつ創意工夫された提案である	一定程度理解した具体的で実現性が高い提案である	どちらともいえない	提案の一部が具体性や実現性に欠ける	提案にまったく具体性や実現性に欠ける
	(2) アクセシビリティ推進意見交換会(仮称)の運営支援 意見交換会において、論点整理・資料作成・運営準備が適切に行われ、円滑な意見交換会の運営ができるような提案がされているか。		十分に理解した具体的で実現性が高く、かつ創意工夫された提案である	一定程度理解した具体的で実現性が高い提案である	どちらともいえない	提案の一部が具体性や実現性に欠ける	提案にまったく具体性や実現性に欠ける

	<p>(3) ICT 技術を活用したアプリの導入 会場の特性や当事者のニーズを踏まえ、機能要件・貼付場所・情報内容・運用体制を適切に設計し、円滑な導入が図られるような提案がされているか。</p>	十分に理解した具体的で実現性が高く、かつ創意工夫された提案である	一定程度理解した具体的で実現性が高い提案である	どちらもいえない	提案の一部が具体性や実現性に欠ける	提案にまったく具体性や実現性に欠ける
	<p>(4) アクセシビリティのスタッフ研修に関する支援 スタッフが必要な理解と対応力を得られるよう、内容設計・講師連携・実施準備が、円滑に図られるような提案となっているか。</p>	十分に理解した具体的で実現性が高く、かつ創意工夫された提案である	一定程度理解した具体的で実現性が高い提案である	どちらもいえない	提案の一部が具体性や実現性に欠ける	提案にまったく具体性や実現性に欠ける
	<p>(5) 各種マップ・事前学習ツールの作成 利用者の特性に配慮した内容を反映し、分かりやすく実用性の高いマップや事前学習ツール等を作成するための提案がされているか。</p>	十分に理解した具体的で実現性が高く、かつ創意工夫された提案である	一定程度理解した具体的で実現性が高い提案である	どちらもいえない	提案の一部が具体性や実現性に欠ける	提案にまったく具体性や実現性に欠ける
	<p>(6) カームダウン・クールダウン/センサリースペースの整備について 当事者の意見を踏まえ、空間設計・配置・運用方法について、安全で利用しやすい環境を実現するための提案がされているか。</p>	十分に理解した具体的で実現性が高く、かつ創意工夫された提案である	一定程度理解した具体的で実現性が高い提案である	どちらもいえない	提案の一部が具体性や実現性に欠ける	提案にまったく具体性や実現性に欠ける
	<p>(7) 評価・とりまとめ(最終報告書の作成) 会期中のデータを適切に収集・分析し、成果と課題をわかりやすく整理した報告書を作成するための提案がされているか。</p>	十分に理解した具体的で実現性が高く、かつ創意工夫された提案である	一定程度理解した具体的で実現性が高い提案である	どちらもいえない	提案の一部が具体性や実現性に欠ける	提案にまったく具体性や実現性に欠ける
ヒアリング	理解力や専門技術力があるか	特に優れている	優れている	どちらもいえない	あまり妥当ではない	妥当ではない

	取り組み意欲が感じられるか	強い意欲が認められる	意欲が認められる	どちらともいえない	あまり意欲が認められない	意欲が認められない
業務遂行能力	1点あたりの費用金額	業務執行の費用対効果が1番目に高いもの	業務執行の費用対効果が2番目に高いもの	業務執行の費用対効果が3番目に高いもの	業務執行の費用対効果が4番目に高いもの	業務執行の費用対効果が5番目に高いもの
ワーク・ライフ・バランスの取組等	表1の「評価の着目点」に記載した項目を満たしているか	項目について1つ満たすごとに1点を加点する				